

2. 昭和天皇 摂政宮当時、越谷鴨場へ2度ご行啓

坂本 誠一郎

一 はじめに

『越谷市大林の宮内庁埼玉鴨場』は、明治四十一年十二月に竣工され、皇族方の主なご行啓につきましては、今まで私の知る範囲ですが、郷土史書に次記の通り発表されてきました。

一、最初に鴨場にお越しなされたお方は、明治四十二年二月二十八日、大正天皇が皇太子当時に、ご行啓。(*1)
二、次いで同年六月十七日、明治天皇のご皇后・昭憲皇太后がご行啓。(*2) 1・2は、『越谷市史』①『通史下』
三、時間を置いて昭和天皇がご来駕されたのは、昭和三十二年三月十一日に、天皇、皇后両陛下をはじめ皇太子や皇族が揃って鴨場を訪れ鴨猟を楽しまれたとあります。(*3)

四、また、昭和天皇、皇后両陛下には、昭和四十二年十月二十三日、埼玉国体が行われた際、越谷市立体育館のバトミントン会場にて試合をご覧になられた記事を目にしていました。(*4) 3・4は、『越谷の歴史物語(第三集)』
五、右記の他にもご行啓がなされていないものかと長い間、気に留めていましたが、図らずも第二項記載の通り、新たに昭和天皇越谷鴨場ご行啓の史実が明らかとなりましたので、記させて頂きます。

二 新たに判明しました史実

「史実その壱」と後段の「史実その貳」とでは、時系列的には、逆順序表示で「ございますので、予めお含みの上、御理解・」高覧賜りますれば幸いです。」とあります。

「史実 その壱」

大正十一年三月二十六日、昭和天皇は、当時は、「摂政宮」であられました^{やすひしやう}が、鳩彦王(後の朝香宮)を同伴され^{あさかのみや}埼玉鴨場まで、自動車と愛馬(山吹号)に乗られ御遠乗されてきました。

埼玉鴨場へ
御遠乗

二十六日 日曜日 午前七時五十分御出門、自動車にて岩淵町の東京陸軍兵器庫までお成りになり、それより山吹号に召され、鳩彦王御同伴にて埼玉鴨場まで御遠乗になる。御到着後、埼玉県知事・同警察部長・郡長らに謁を賜い、それより午前、午後、それぞれ一回ずつ鴨猟を行われる。帰途は御乗馬にて草加を経て千住へ向かわれ、千住より自動車にて御帰還になる。

○東宮侍従日誌、東宮職日誌、今上陛下御乗馬誌、宮内省省報、奈良武次日記、東京日日新聞

「その史実の証明記録」 昭和天皇実録(第三集) 大正十一年三月二十六日の記録及び別紙鳩ヶ谷新報「史実 その貳」

大正十一年一月二十九日にも「埼玉鴨場にご行啓された史実」が、前述昭和天皇実録(第三集)に記載されています。この時は、次記の通り、自動車にてご行啓され、鴨猟を行われたと記載されています。

埼玉鴨場へ
行啓

二十九日 日曜日 午前十時自動車にて御出門、埼玉鴨場に行啓され、鴨猟を行われる。この日お召しの侯爵小松輝久・宮内省御用掛山本信次郎・外務書記官沢田節蔵も供奉に加わる。御昼食は供奉員休憩所にお出ましになり、一同と共に同じ卓子・食器にてお召し上がりになる。この日の鴨猟は午前一回、午後二回行われるも不猟につき、カスミ網による雉追いが催され、御覧になる。

○東宮侍従日誌、東宮職日誌、東宮内舎人日記、行啓録、宮内省省報、奈良武次日記